くみあいNEWS

第１５２７８号
2022年2月28日(月)
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ：http://nssmwu.jp/　　代表内線番号　和歌山地区(本部)(54)－3590
堺地区　652990／海南地区(54)－5555

第53期 第７回中央委員会報告

【日時】2月25日(金)17時15分～18時30分
【出欠】出席69名 委任32名 欠席0名/101名
【議長】玉井議長

Ⅰ.報告事項

1.上部団体会議報告
- 第9回中央執行委員会
- 第10回中央執行委員会
- 中央労使協議報告

1/31 団体交渉
「新型コロナウイルス感染症の感染状症拡大時における変形労働時間制の諸取り扱いについて」

2/3 臨時経営委員会
「2021年度第3四半期決算について」

2/9 団体交渉
「ダイバーシティ＆インクルージョンに関連する労働協約および関連諸協定の一部改訂について」

2/10 団体交渉・労使協議会
「労働協約および関係諸協定の改訂について（その1)」

2/17 臨時経営委員会
「2022年2月17日付組織改正について」

臨時経営委員会
「2022年4月 1日付組織改正について」

2/25 団体交渉・労使協議会
「労働協約および関係諸協定の改訂について（その2)」

2.箇所労使協議報告

1/31 経営委員会
「2月度生産計画について」

2/24 経営委員会・労使協議会
「中径シームレスの一部工程における生産調整休止及びシフトダウン、並びにそれに伴う人員措置について」

2/25 経営委員会
「3月度生産計画について」

3.2021年年末年始安全強化活動結果報告
4.2022年度第2/四半期決算報告ならびに会計監査報告
5.「書きそんじハガキの回収活動」取り組み結果報告
6.日本製鉄労連「第11回中央委員会」報告
7.基幹労連「第19回中央委員会」報告
8.第7回政策実現対策委員会報告
9.第2回労働組合会館のあり方検討委員会報告
10.労働組合の契約施設の追加について
11.日本製鉄健康保険組合第27回組合会・第33回理事会報告

Ⅱ.協議事項
1.2022年度「夏期安全ポスター」の募集について
2.2022年度和歌山労組安全研修会の開催について

Ⅲ.審議事項

Ⅳ.その他
1.3月度日程について

報告事項11件、異議なく承認
協議事項2件、審議事項0件、
満場一致で可決・決定

中央委員会の議事内容（抜粋）を紹介します

日本製鉄労連「第１１回中央委員会」報告


青雲会長

１．日　時　　２０２２年２月７日（月）１４時００分～１６時１５分
２．場　所　　Ｗｅｂ開催
３．青雲会長挨拶（要旨）
　ＡＰ２２春季取り組みについて
・前回のＡＰ２０春季取り組みは、取り巻く環境からゼロ回答と厳しい結果になった。
・会社収益のＶ字回復には、会社諸施策への対応など、我々の貢献も大きい。
・カーボンニュートラル・生産設備構造対策の完遂を果たしていかなければならない。
・賃金水準については、ＡＰ２０で遅れをとったことで他産業に離されてはならない。組合員の活力発揮、すべての人の底上げ・底支えに資する取り組みとしていかなければならない。
４．議　事
（１）報告事項：①一般経過報告　【異議なく承認】
（２）審議事項：第１号議案　ＡＰ２２春季取り組み方針（案）【全議案満場一致で可決・決定】

基幹労連「第１９回中央委員会」報告


神田委員長

１．日　　時　　２０２２年２月９日（火）１３時３０分～１６時２０分
２．開催方法　　Ｗｅｂ開催
３．神田中央執行委員長挨拶（要旨）
　取り巻く環境とＡＰ２２春季取り組み
・ＡＰ２２春季取り組みは、引き続き、継続的な賃金改善によって消費行動を高めていくことが経済の自律的回復、経済・社会の持続的発展へとつながるとの考え方のもとで進めていく。
・今次取り組みは、グループ・関連企業に働く仲間の底上げ・底支えを後押しするものとして、賃金改善においては月例賃金にこだわった要求の組み立てと交渉をお願いしたい。
・賃金改善は、高技能長期能力蓄積型産業としての技能・技術の伝承と、それを受け継ぐ優秀な人財確保・定着という将来も見据えた課題対処にもつながる。
・今次取り組みは、コロナ禍からの脱却と新たな時代への挑戦に向けた労使力合わせの最重要の時として臨む。人をど真ん中に据えた論議とその結果が「魅力ある労働条件」と「産業・企業の競争力強化」の好循環を回し続ける原動力となる取り組みとしていこう。
４．議　　事
（１）報告事項：①活動経過報告　②第２６回政策実現活動の取り組み　【異議なく承認】
（２）審議事項：①ＡＰ２２春季取り組みに関する件　【満場一致で可決・決定】

「書きそんじハガキの回収活動」取り組み結果報告

書きそんじハガキの回収活動にご協力頂いた支部の皆様に御礼申し上げると共に、回収結果について報告します。

１．取り組み期間　　２０２１年１２月１日（水）～２０２２年２月２８日（月）
２．回 収 結 果　　７４０枚（昨年比＋３５１枚）

書きそんじハガキ回収活動へのご協力ありがとうございました！

労働組合の契約施設の追加について

１．花山温泉

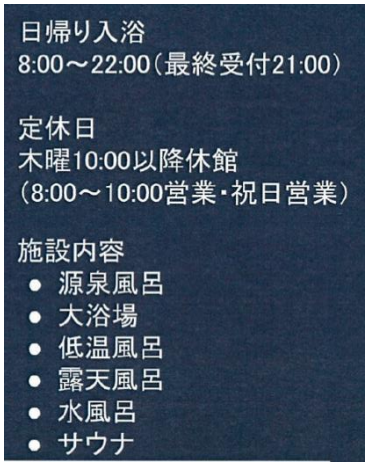
施 設 名　　花山温泉　～薬師の湯～

契約料金　　入浴料より２００円割引。同伴者１名まで割引適用可（他割引券併用不可）

利用方法　　券売機で入浴券を購入後、窓口に組合員証または日本製鉄の社員証を提示し返金を受ける。

提携時期　　２０２２年３月１日～

	通常料金	割引適用額
入浴料	大人 1100 円／小人 550 円	大人 900 円／小人 350 円
夕方 17 時以降の入浴料	大人 850 円／小人 420 円	大人 650 円／小人 220 円





２．株式会社快活フロンティア

施 設 名　　快活クラブ・カラオケコートダジュール・FIT24

利用方法　　専用サイトにログインし各施設利用時に画面を提示する。

提携時期　　２０２２年２月２１日～







○利用方法

STEP 1
スマートフォンでQRコードを読み取る、またはURLをご入力くださいませ。
https://corp.cotedazur.jp/

STEP 2
下記の御社専用のIDとパスワードを入力。



STEP 3
ご利用の施設をタップし、ご優待画面をスタッフにご提示くださいませ。



御社ログイン情報 › ID: 99991234　パスワード: 141031

積極的なご利用をお願いします

組合長挨拶

中央委員会の最後に、山本組合長より「中径シームレスの一部工程における生産調整休止及びシフトダウン、ならびにそれに伴う人員措置について」の会社提案に対する受けとめ等について挨拶を行い、中央委員との認識共有を図りました。



山本組合長

ご安全に。

本日の中央委員会も多くの議事をご確認頂きました。中でも、昨日開催した経営委員会・労使協議会における中径シームレスの黒字化に向けた各施策について、唐突感を持たれた方は多くおられるはずです。

組合としてもパイプの需要が戻らず、大きな課題として捉えていましたが、この４月からの本施策が示されたことは、会社として急がなければならないとはいえ、非常に残念であります。

しかし、よく考えてみると、２０１２年に新日鐵住金がスタートして以降、一時は全社の１／４を占める収益を上げるほどシームレスパイプが好調であったのに、急激な脱炭素社会への舵取りによる世界的なエネルギー政策の方向転換やコロナウイルスの影響により、油井管が長らく低迷しており赤字が解消されないという現実に晒されています。

会社の大きな目的は経営として利益を上げることなので、赤字を何とかするために戦略を立てることについては、労働組合としても常識的に理解しています。お客様のニーズがない限り製品は売れないし、いつ需要が戻るのかも不透明であり、シフトアップや設備休止の復帰など、正直、現時点で確約は出来ないと思います。

では、どうすれば黒字化を達成することが出来るのか。それを考えて具体的に行動するしかありません。今回の施策は厳しく痛みを伴いますが、中径シームレスを「守る」という観点の一方、絶対に黒字化するために「攻める」という意味合いを掲げながら、操業応援や技能研修にご協力頂く方、工場で踏ん張って頂く方、また整備に携わって頂く方、すべての労使・直協が一丸となって結果を出すしかありません。あくなき挑戦をしていくしかありません。

労働組合としては、今回の施策において安全と健康の確保、年休取得の推進、時間外労働の適正化など、労働条件や処遇に影響が出ない様、今後の労使話し合いの場において会社に要請して参ります。

職場の皆様には、同じく災害撲滅に向けた安全確保はもとより、安定操業、品質確保、良好な整備など、生産トラブルの回避に向けてご尽力を頂く様お願い致します。

いずれにしましても、中径シームレスは和歌山の「虎の子」であります。鋼管部としての正念場を迎えた今、まずは２０２２年度を絶対に黒字とするべく、執行部と支部が連携しながら頑張って参りましょう。

ご安全に。